

# ONE BRAND

**+ONE LOVE** INTERVIEW  
**石垣佑磨**

vol. **30**

**帰田犬**  
と  
る  
舎  
に  
。づ



# 犬と田舎に



いま、愛犬家たちの間で田舎が見直されはじめています。  
都会の喧噪を逃れ、愛犬とともに自然のなかでのんびり暮らしたら、  
どんなに幸せなことだろうか、と——。  
今回は、地方出身で、現在は都会に暮らしている女性が、  
田舎の犬たちと接する「帰省の喜び」について、  
さらに二十数年前に都会から田舎に移住した夫婦が登場し、  
犬と人の「原点回帰の喜び」を語ってくれました。  
うーん、田舎に帰るって、いいかも。





Photo:Junpei Hareyama



自然のなかで、おおらかに暮らしたい!

# 帰ろう。

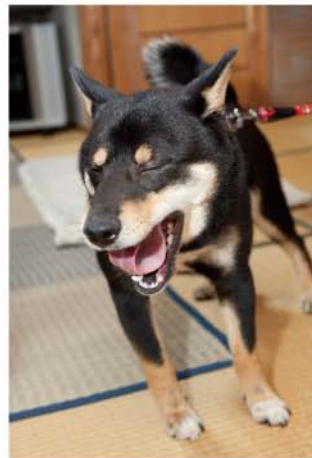
# 帰田犬と ろくに 舎に



ひさしぶりに会うゴン太と散歩に出かけよう



ひ孫のようにゴン太をかわいがるおじいちゃんとおばあちゃん



近所の柴犬友だち・あんみつくん



製作途中のだるまがいっぱい



捨て犬だったチャッピー(左)とチビ太(右の写真)



母の友人で2頭の捨て犬を飼う福だるま製造の深谷さん

## ゴン太に会って「私」に戻る日曜日

群馬県高崎市の郊外で生まれ育った外内亜実さんは東京で一人暮らし。実家に帰省するたびにゴン太の自由奔放さに接し、心底ホッとするのだそうです——。外内さんに、田舎の犬の魅力、幸せな愛犬生活などについて語っていただきました。

## 動物つぼさに癒されて

「上州女は気丈」っていいです。

でも、わざわざわがわがしている東京に暮らしている  
と、いくら上州生まれのわたしでも、ときどき息  
がつまりそうになることがあります。

そんなときわたしは、ふらりと群馬県高崎市  
の郊外にある実家に帰ります。そして、黒柴の  
「ゴン太（一歳オス）を連れて、自然がいっぱいの  
近所を歩き回ります。

じつは、この「ゴン太はあまりきちんとしてつ  
けられていません。散歩中でもすぐにチョウウチョ  
ウヤトンボを追っかけようとして、すぐに横道  
にそれてしまいます。

だけど、その自由きままな姿からはペットと  
いうよりも、天真爛漫な動物つぼさがいっぱい  
感じられ、わたしはそれを見ているだけでなん  
となく癒される気分になるのです。

そう、わたしからすると都会の犬たちは、彼  
らが大好きな自然が少なくいうに、人間の都合  
に合わせて暮らさなければならぬところが多  
くて、とても窮屈そうに見えます。もう少し田  
舎の犬たちみたいに自由に行動させてあげたい  
なあって、思ってしまうのです。

## 犬とわたしの幸せの条件

ただ、わたしは、だからといって「田舎の犬が  
幸せで、都会の犬は不幸せ」という風には考え  
ていません。

これは、東京の神田に生まれ育ち、いまは高  
崎に移り住んでいるわたしのおじいちゃんから  
の影響です。

81歳になるまで何頭もの犬と接しつづけて  
きた経験をもつおじいちゃんは、いつもこんな  
ことをわたしにいうのです。

「自然がいっぱいの空間と時間に恵まれている

田舎の犬は、たしかに都会の犬よりは幸せそう  
には見える。でも、じつは犬にとっては、いっしょ  
に暮らしている飼い主が「コノ口にゆとりをもつ  
て接してくれることが一番幸せに感じられるん  
だ。これは都会でも田舎でも変わりはないだろ  
う」

これは、あくまで犬の話です。でも、わたしは、  
この話を聞くたびに、「ゴン太に救いを求めて帰  
省している自分のことがちょっと恥ずかしくな  
ります。東京でもどこでも、上州女らしく気丈  
に生きなくてはいけないじゃないか、なんて思っ  
てしまうのです。

もしかして、おじいちゃんは、わたしがいつも  
弱って帰ってきているのを気にかけて、こんな話  
をしてくれているのかも知れません……。

「ゴン太、ごめんね。こんど会いにくるときは、  
もっと元気な「こんにち」がもらえるよう、頑  
張ってみるからね。」



高崎市はだるまの街としても有名



犬の散歩の定番はやはり河川の土手



だるまで有名な少林山達磨寺



外内亜実さん(そとうちあみ) ●  
1988年群馬県生まれ。緑と水  
に恵まれた高崎市の郊外で育ち、  
18歳のときに大学進学のために  
上京。昨年大学を卒業し、現在も  
東京で暮らしている。趣味はフィ  
ルムによる写真撮影。

# 益子の里に移り住んだ、小貫夫妻と愛犬の原点回帰

東京で生まれ育った陶芸家の小貫夫妻は、二十数年前に益子の地に移り住みました。自然がいっぱいの環境のなかで、夫妻は念願の生活を手に入れたわけですが、同時に、いっしょに住む犬も、じつに、犬らしい生活を手に入れることができました。さて、その魅力的な愛犬生活とは？



小貫夫妻と、ガンバと。800坪の敷地の一角に建てられた手づくりのアトリエ前で

## 広大な敷地に小躍りしたポロ

陶芸の里・栃木県益子のはずれのはずれ。

いまから28年前に800坪の土地を超格安で手に入れたあと、ともに東京出身の陶芸家である小貫夫妻は愛犬のポロ(ワイヤーヘアードフォックステリア・メス)を連れてここに移り住みました。

ポロはもともと妻の夏さんが東京で飼っていた犬。当時、狭い生活空間のストレスのせいか、たびたび心臓発作を起こしていたそうです。

「でも、この益子にきて、広い敷地内を自由に走り回り、野ねずみやタヌキを追いかけて、狩猟犬の本能を存分に発揮できたとき、それは不思議にもピタリとやんだ。とにかく、毎日が有頂天の状態。まるでスノーピーが小躍りしたみたいに飲んでいましたね(笑)」。夏さん)

結局ポロは、その後6年間を健康に生き、13歳で亡くなりました。いい余生をすごさせてやれたと夫妻は思っています。

## もの寂しさを紛らわしたガンバ

ポロが亡くなってしばらくは犬を飼わないまま過ごした小貫夫妻。

だけど、その4年後のある日、近所の知り合いの家に野良犬一家がやってきて、一頭の子犬をおぎざりにしていききました。犬のいない生活にもの足りなさを感じていた夫妻は、迷うことなくその子を引き取ることにしました。

「たぶんテリア系の血が入った雑種。益子には都市部から犬を捨てにくる人が多く、そうした犬たちの交合の結果生まれてきた子でしょう。ちなみにガンバと名付けたのは、子どもがサッカーチームのガンバ大阪が大好きだったから。とくにおぎざりにされた子にエールを送るような感じという意図はまったくありませんでした(笑)」。夏さん)。

ガンバは野生のなかで生まれたにもかかわらず、随分とおとしく利口な犬でした。ポロと同



夏さんのろくろ工房。もうガンバは耳が聞こえないので、雰囲気でお話している



手前は小貫善二の陶芸作品。後方にならぶ食器類は妻の夏さんの手によるもの



18歳になっても、ガンバは善二さんといっしょにトラックに乗るのが大好き



現在ガンバが寝床にしているのは善二さんのろくろ工房。昼夜問わずよく寝ている



## 犬と田舎に帰ろう。

小貫善二さん(夏さん)のおめきよしじなご夫妻 ●夫の善二さんは1953年東京都生まれ。自由学園を卒業後77年に益子の塚本製陶に入所。81年に独立してからの繊細かつ大胆な作品は、国内はもちろん欧州でも高く評価されている。妻の夏さんは1955年東京生まれ。自由学園時代から陶芸作家として活動。82年に善二さんと結婚して益子に移ってからは、温もりのある食器や置物などの陶器を精力的に生みだしている。



じで敷地を自由に走り回り、ヤブのなかを探索するのも大好きだったので、普段は夫妻がアトリエで作陶をする周りをうろつろつろするなど、健気で好きな側面をよく見せてくれました。

「ここは人里離れた場所。のんびりとは暮らせるものの、けっこう寂しい気持ちに陥ったりすることも。ただ、そんなときは、ふりかえればいつもガンバがいた。それは、生活面でも仕事面でもすごく心強く、ありがたいことに思えました(夫の善二さん)」

ガンバは、今年の12月で18歳になります。もともとの健康体ゆえか、ストレスの少ない田舎暮らしのせいも、かなりの長生き。ただ、もう耳も聞こえず、足も弱ってきており、そう先は長くないだろうと夫妻は覚悟しています。

「この28年を思い返せばボロやガンバのおかげで、益子での生活は想像以上に楽しいものになったと思います。彼らは勝手に楽しんでただけかも知れませんが、それを見て、いっしょに遊ぶのが無性に嬉しかった。本当に、犬といっしょの田舎はいいものだと思えています」

「ただ、だからといって、だれにでも田舎での愛犬生活を勧めるつもりはありません。こんな山のなかで犬を飼うと、ダニはつくわ、猪は襲ってくるわで、大変なことはいっぱいあるからです。夫婦で長期間の海外旅行なんかもせつたい無理。そんなもるものマイナス点が我慢できるなら、どうぞって感じでしょうか(笑)」

ガンバは、まるで、この善二さんの最後の言葉が聞こえたかのように、いつもの寝場所のろくろ工房へと、よたよたと向かっていったのでした。

ONE LOVEプロジェクトは

# 犬の殺処分をなくし、 人と犬との明るい未来をつくる プロジェクトです



人と犬がもっと豊かに暮らせる社会をめざしている  
ONE BRANDでは、1頭でも多くの犬の命を救うために、  
2008年より動物保護団体への寄付、情報発信による啓発、  
保護犬の譲渡支援を行なう「ONE LOVEプロジェクト」を  
実施しています。ONE LOVEプロジェクトは、  
「できることから始めよう!」をモットーに、  
犬を愛するみなさんに参加いただくことで、  
幸せな犬たちを増やしています。



# 87,119

頭

保健所に收容される  
犬の数

(平成 22年環境省発表)

【收容される理由】

- 捨てられた犬や迷子犬を保護
- 無責任な飼い主の飼育放棄による持ち込み
- 動物取扱業者による持ち込み

# 61

%

殺処分される  
犬のパーセントと数

- 元の飼い主のもとに戻れなかった犬
- 動物保護団体にレスキューされなかった犬
- 新しい飼い主に譲渡されなかった犬

# 53,268

頭



殺処分される犬を減らすためには、  
保健所に收容された犬を引き取り新しい飼い主を探している、  
動物保護団体を支援していくこと。  
そして、「犬を飼おう」と考えた時に  
「保護犬」を選択する人を増やすために、認知を広める必要があります。

今すぐ、できることから始めませんか？



## 今すぐ参加できる寄付・啓発・支援



- ONE LOVEサポーター会費
- ONE LOVEグッズの売上
- 協賛企業・賛同者からの寄付金から毎月、動物保護団体に寄付しています。



### ONE LOVEプロジェクト事務局



動物保護団体  
12団体  
(2012年12月現在)



ONE LOVE  
プロジェクト  
啓発活動費

ONE LOVE プロジェクトでは、一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体に、長期にわたり定期的に行える寄付支援をしています。

## 誰でもできる 月1,000円からのサポート

### ～ ONE LOVEサポーター～

保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や、犬たちが置かれた現状をより多くの方々へ啓発していく活動を支援して下さる「ONE LOVEサポーター」を募集しています。あなたもできることから始めませんか？

#### ●サポーターには・・・

- ①『ONE BRAND』マガジンを奇数月にお届け
- ②サポーター会報誌を偶数月にお届け
- ③ONE LOVE会員カードの発行
- ④ONE LOVEメールマガジン配信



ONE LOVEサポーターへのお申し込み、お問合せ

<http://www.onelove.cc>

☎03-5575-2363

※サポーター会費は1,000円から金額を選べます。  
※現会員も金額の変更ができます。



携帯はこちら

## お買い物でも サポートできます！

ONE BRAND Shopping (WEB) 内の全ての商品は、売上の一部が動物保護団体への寄付になります。

1頭でも多くの犬たちを救うために、楽しいショッピングは、ぜひONE BRAND Shoppingで！



迷子札

<http://www.obshopping.jp/>

☎03-5575-2363 10:00～17:00(土日、祝日を除く)



携帯はこちら

### ONE LOVEプロジェクト 寄付先団体 (50音順)

※2012年12月末  
現在

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西)  
<http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー  
<http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま  
<http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん  
<http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて  
<http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター)  
<http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会  
<http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ)  
<http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ)  
保健所の犬・猫を救う会  
<http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会  
<http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会  
<http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs  
<http://www.wonderful-dogs.com/>

4,653,518円

(2012年1月～11月)

これまでの寄付金総額

27,049,937円

(2008年4月22日～2012年11月末現在の累計)

寄付金の詳細については、ONE LOVEサイト内「寄付金の報告 donations report」をご覧ください。

<http://www.onelove.cc/>

**ONE** BRAND vol. **30**